

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	住宅ストック小委員会		主 査 名：長谷川 洋 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：森本 信明 主 査 名：
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「住宅ストック」のマネジメントに関して、わが国及び諸外国の制度や事例等の実態や課題等を把握し、わが国の社会システムのあり方に関する提言につながる研究を実施することを目的とする。 ・2009 年度は、次の活動を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①大会において、建築計画委員会住宅小委員会と連携して、「研究懇談会」を開催し、戸建て住宅地マネジメント研究の到達点の確認を行うとともに、住宅地マネジメント研究に対する方法論について議論を行った。 ②集合住宅ストック及び戸建て住宅地のマネジメント研究に関して、委員間での研究発表を行い、住宅ストック研究としての到達点を整理するとともに、今後の研究のあり方に関して議論を行った（建築計画委員会住宅小委員会と連携）。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし 主査 長谷川 洋 (国土交通省国土技術政策総合研究所) 幹事 齊藤 広子 (明海大学不動産学部不動産学科) 幹事 村上 心 (相山女学園大生活科学部) 委員 阿部 一尋 (NPO 法人横浜マンション管理組合協議会) 今井 俊夫 (今井環境建築事務所) 小杉 学 (愛知産業大学建築学科) 関 栄二 (明海大学不動産学部不動産学科) 丁 志映 (千葉大学) 辻 寿一 (大阪樟蔭女子大学学芸学部) 西戸 啓陽 (明海大学不動産学部不動産学科) 橋本 真一 (財団法人建設物価調査会総合研究所) 山本 理 (長谷工総合研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)	住宅ストックの研究対象は多岐にわたることから、次の 3 つの WG を設置し、研究を推進する。 <ol style="list-style-type: none"> ①集合住宅 WG：集合住宅のマネジメントに係る研究を行う。 ②戸建住宅地 WG：戸建て住宅地のマネジメントに係る研究を行う。 ③住宅流通 WG：既存住宅の流通の活性化に資する研究を行う。 		
2009 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/shugou/	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし

催し物 <small>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</small>	なし
大会研究集会	研究懇談会「住宅地マネジメントの課題と展望ー成熟社会のプログラムー」を開催した。
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当初目標をおおむね達成できた。 2. 建築計画委員会住宅小委員会と連携し、戸建て住宅地マネジメント研究に関する方向性や方法論について議論ができた。 3. 住宅ストック研究としての現在の到達点と課題を整理することができた。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会の性格上、実務家の委員も多いが、出席が難しい場合がある。 2. 委員が東京、大阪、名古屋に分散しており、一堂に会することが難しい。 3. 来年度はWG活動を含め、委員会運営をより活発に行いたい。

※小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。